

知事 村井嘉浩 様

東京五輪は中止しコロナ対策に全力をつくすべき（11回目）

2021年5月26日

日本共産党宮城県委員会

新型コロナウイルス対策本部

本部長 ふなやま 由美

日本共産党宮城県会議員団

団 長 三浦 一敏

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない中、「五輪は中止しコロナ対策に集中してほしい」との声が高まっています。5月15日～16日に実施された共同通信社など4社の世論調査で、東京オリンピック中止・延期を求める声は7割にもなっています。

東京都や大阪府をはじめ、全国都道府県が緊急事態宣言やまん延防止等重点措置をとっています。宮城県も感染者は一応抑えられているものの、感染力が強いとされる「N501Y」の変異株が相次ぎ、決して油断できない状況です。

ホストタウンの誘致を予定している自治体では、大変困惑している状況もあります。県にはすべての自治体がコロナ対策に全力を集中すべき環境をつくる責任があります。

私たちが今、東京五輪の中止を求める理由は①ワクチン接種が間に合わない②アスリートのフェアな大会にならない③医療従事者を東京五輪のために医療現場から引きはがし集めることは許されない、の3点です。

このまま東京五輪を強行すれば、取り返しのつかない事態となって、日本が五輪パンデミックの発信地になる心配もあります。

人生のすべてをかけて東京五輪に向けて全力で頑張っている選手の皆さんの気持ちを考えると大変心苦しく残念ですが、このコロナ禍では選手自身が一番望むフェアな東京五輪にはなりえないということです。

よって、宮城県としてオリンピックは開催すべきでないということを国や東京都に対して働きかけるべきと考え、以下の点を申し入れます。

1. 村井知事が東京五輪の中止を国や東京都に発信すること。

以上